

アーチェリーに

初挑戦

お年寄りの皆さんがアーチェリー（洋弓）に初挑戦し、九月二十七日の大会にむけ練習を重ねています。

去る五月二十五日に「アーチェリーの初

歩的技能と安全に楽しむためのルール、マ

ナーを身につけよう」と開講式をあげ、幕別地区は幕別高校レンジ、

札内地区は札内スポーツセンター特設レンジで練習をはじめていま

九月の大会にむけ練習中

参加資格は六十五歳以上、しかも、初めての経験とあって、参加した二十人のお年寄りの皆さんは少々緊張

気味でしたが、幕別アーチェリー協会指導

員のアドバイスでメキメキ腕をあげ、今では月二回の練習を待ち望

んでいます。



まぐべ

'79

330

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111

●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

7

毎日の天候が

気がかりな時期です

7月の農作業

いよいよ盛夏期にはいりますが、七、八月の気温は豆類の収量に大きな影響があるとわれ、また、月末からは小麦の収穫時期になりますので雨が心配されています。

このように、毎日の天候が気がかりな時期にはいりますので、適切な技術対応と努力で乗り切りましょう。

小麦の収穫適期

小麦の作付面積は昨年の千五百六十二万を大幅に上回る二千二百二十四万となっております。収穫期に降雨がありますと穂発芽などの規格外が多くなります。

収穫適期は黄熟期（茎葉に緑色が残る穂首が黄色になった時期）で、この時期が最も品質が良いとされています。

出穂からの日数でみますと、「タクネコムギ」で約四十日、「ホロシリコムギ」で約四十一日になります。バインダーの場合はこの黄熟期が収穫適期となります。

コンバイン収穫、火力乾燥体系では、まだ子実の水分が三〇〜四〇%と多いため、子実の水分が三〇%以下になる黄熟後期から収穫を開始するのが良いでしょう。しか

し、それだけ収穫適期が短くなるため品質低下の恐れもあります。ほ場を良く観察し、地区で協議して能率よく収穫するようにしましょう。

なお、黄熟後期とは、バインダー収穫より三、四日あともなります。

豆類

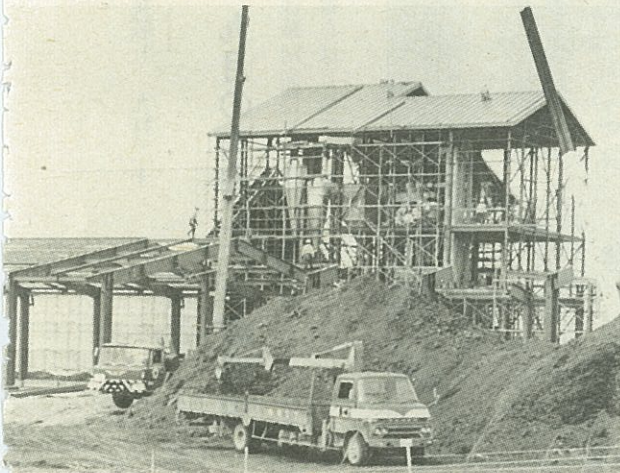
中耕除草 七月中旬には中耕除草の最終回になります。大豆、小豆および菜豆は開花直前に中耕除草を終えるようにします。

病害虫防除 虫害としては、えん豆のヨトウガと小麦のマメホソグゾウムシ（ハナゾウムシ）があり、病害としては小

豆の炭そ病、さび病、菜豆のかさ枯病、炭そ病、角斑病、さび病および菌核病などがあります。

特に小豆のマメホソグゾウムシは小豆の落蕾、落花をおこし、結実をさまたげますので、着蕾後に成虫を発見したら、ただちにバイジット乳剤一〇〇〇倍液で防除しましょう。

札内農協の大型乾燥施設



菜豆の菌核病は開花はじめて後五日目にトップジンM七〇〇倍で第一回目の防除をおこない、その後七、十日ごとに散布します。散布回数は四回以内に制限されています。

馬鈴しょ

疫病の初発期は着蕾期から開花はじめて頃で、下葉に近い葉に水浸状の斑点が生じ、やがて不正形の暗緑〜暗褐色の病斑となり湿度の高い条件のもとでは極めて早く蔓延します。このため定期的に予防的防除を必要とします。採種ほ場ではアブラムシの同時防除をおこなってください。

疫病の防除農薬は十アールあたり水百リットルに対してグリーンダイセン二百グラムまたはダコニール百五十グラムを散布しましょう。

てん菜

地上部の生育が日増しに旺盛になります

ので、最終中耕はカルチベーターで茎葉の損傷しないうちに終えるようにしましょう。

また、ヨトウガと褐斑病の防除時期で、ヨトウガは月始めが第一回目の防除時期になります。同報無線に注意し防除に努めましょう。

先月に引きつづき根腐病の防除時期です。

この防除にはペンタゲン水和剤五〇〇倍で十アールあたり薬液二百リットルを株元に散布します。

月末からは褐斑病の防除時期に入ります。防除農薬としては、十アールあたり水百リットルにスズ日和水和剤八十グラムかダコニール水和剤二百グラムを混入して散布します。

一番草の刈取りと調整

今年の一草は、草丈は短かいが熟期は普通に生育している様です。牧草収量の六〇%を占める一番草の刈取り時期は、乾草やサイレージの品質を大きく左右しますのでご注意ください。

牧草は生殖生長が進むにつれて蛋白質が少なくなり、セニイが多くなります。このため消化が悪くなり栄養価値も低下しますので、出穂始めから開花前に刈取ることが理想的です。

刈取りの適期はオーチャードグラス草地はすでに終了したかと思いますが、チモシー草地では六月下旬から七月上旬です。草丈の長くなるのを待たずに早目に刈取るようにしましょう。

乾燥調整 刈取り直後の牧草は八五%前後の水分がありますが、これを一六%以下の乾草にする安全に貯蔵出来ます。乾草調整で重要なことは、成分の損失防止が第一です。そのためには強い雨にあてないことが最も大切なことです。降雨にあうと牧草中の蛋白質や炭水化物、磷酸や石灰などミネラル成分が少くなり損失が大きくなりますので、次の点に留意ください。

（次の頁の下段につづく）

重点目標は“青少年の非行防止”

七月いっぱい
全国一斉に 社会を明るくする運動

すべての国民が犯罪の防止と罪をおかした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪のない明るい社会を築こうと、第二十九回社会を明るくする運動が七月いっぱい全国一斉に展開されています。

最近の青少年非行は、量的に増加の傾向をしめしているばかりでなく、質的にも複雑多様化し、特に中流以上の家庭に属する少年、低年齢層の少年、少女の非行が目立っているところから、今年の重点目標は「地域活動の推進による青少年の非行防止」とすることになりました。

青少年の非行防止には、直接の関係者はもとより、青少年を

とりまく人々、特に地域の皆さんがともに手をたずさえて、幅広い地域活動を展開することが最も大切なことなのです。犯罪のない明るい社会とするために、町民の皆さんのご協力をお願いいたします。

心配ごとは保護司さんにご相談ください
幕別町の保護司さんが増員され十二人となりました。心配ごとがありましたなら、近くの保護司さんにご相談ください。相談された個人の秘密を守り、皆さんといっしょに問題解決にあたっていただけます。保護司さんは次の方々です。

最優秀賞に青田、松田さん

火災予防ポスター、作文

幕別消防署で町内の小学校高学年児童を対象に募集していました火災予防ポスター、作文の入賞者が決まりました。なお、最優秀賞の作文は上部段階（支庁）のコンクールに参加します。

ポスターの部 ▽最優秀賞—青田睦美（南小） ▽優秀賞—神山和寿（南小） 佐藤智美（榑内小） ▽佳作—岡田宏佳（南小） 松田さゆり（古舞小） 杉本明子（古舞小） 道下訓央（幕別小） 大西幸子（新和小）
作文の部 ▽最優秀賞—松田さゆり（古舞小） ▽優秀賞—中村雅幸（相川小） 杉本明子（古舞小） 村上みどり（南小）
▽佳作—岡田仁志（南小） 大野謙（南小） 小谷俊之（古舞小） 小山直紀（相川小） 古川なおみ（相川小） 増川恭子（南小）

厚生常任委員に水野議員

五月七日の町議会において議決機関としての体制が整いましたため、広報まぐべつ六月号でお知らせしましたが厚生常任委員会所属の水野正盛議員のお名前が記載もれとなりました。つっしんで訂正し、おわびいたします。

前田秀二（札内豊町）
乙武善正（南町） 芝
木梅（宝町） 古海公
哉（猿別） 林照男
（寿町） 阿部イシ子
（旭町） 角常久（榑内）
吉村康一（札内北町） 梅田敏
男（あかしや町） 吉田正公
岸上喜之助（古舞）
（札内堤町） 橋本喜作（依田）

沢水を利用している方は水源の衛生管理を

沢水などを自家用水に使用している方は、水源の衛生管理に十分気をつけましょう。特に夏は種々の雑菌が増える季節です。水槽の中はいつも綺麗な水をためるようにしましょう。

農村婦人対象も 農業機械化研修を開催

昭和五十四年度の農業機械化研修が開催されます。この研修は初心者から指導者までが研修出来るよう次の八コースが設けられています。研修の日程その他は役場農林課が普及所に、おたずねください。

研修名称	開催回数	研修日数
農業機械一級	一回	十一日間
コンバイン利用計画	一回	七日間
乾燥設備作業主任者	一回	三日間
トラクター整備	一回	六日間
溶接技能	一回	四日間
農業機械二級	一回	十三日間
コンバイン利用	一回	六日間
農村婦人	一回	二日間



協力者に感謝状

四月十六日に防火井戸が崩れ犠牲者を出しましたが、救出作業に機械を提供し協力してくださった沢井工業、幕別興業、斉藤砂利、清原建業に、大石東十勝消防事務組合長から感謝状がおくられました。



町づくりに 16億円を補正

昭和五十四年度の予算は、骨格予算となっていました、町長・町議会議員選挙後初の町議会定例会が、六月二日開かれ新規事業や政策的予算など十六億円の補正予算案を議決住みよい町づくりに向けスタートしました。これにともない一般会計と特別会計を合せると、ことし町づくりに使われるお金は七十九億六千三百一十七千円となります。今回補正された中から皆さんに関係のある主な事業をお知らせいたします。

昭和五十四年度の予算は、四月号で掲載いたしましたように義務的経費と継続事業を基にした骨格予算を編成しましたが、町長と町議会議員選挙も終り町では、「住みよい町づくり」をより一層進めるため新規

事業など政策予算の編成作業を進めてきました。

予算の編成では、総合計画の目標である「生活と生産の調和」を中心に四つの柱である①住みよい町づくり、②あたたかい町

づくり、③豊かな町づくり、④明日への町づくりに分けて行なわれました。

予算編成された事業の中では、市街地道路や農村部の幹線道路などの舗装工事や楳内小学校、同中学校校舎の増改築工事、へき地教員住宅の建設などが行われ、生活環境や教育施設の整備が一段と進められます。また、総合計画が五十五年度で一応ピリオドを打つことから昭和六十年代を展望する新総合計画の策定作業や、新農業構造改善事業、農村総合整備モデル事業など大型事業がスタートします。

今回補正された十六億円を含め、ことし町づくりに使われるお金は、一般会計、特別会計を合せ七十九億六千三百一十七千円となり、五十三年当初予算に比べ二・六六%の伸びとなりました。

捨てています。この豊岡のゴミ捨て場を有効、かつ長期にわたって利用出来るようにと、ゴミを投棄する場所の整備と防火フェンスの工事を、五千万円の予算で実施します。また、幕別墓地の環境整備と一部分の造成工事もおこないます。

●住みよい町づくり

進む市街地

道路の舗装

道路の舗装率

五二・六%

道路

町民の皆さんからの要望で最も多いのは道路の整備です。町では皆さんの要望に応え年次計画で整備とすすめています。今年は農村の生活道路として相川南二十号道路、依田七号線道路、豊岡高台線道

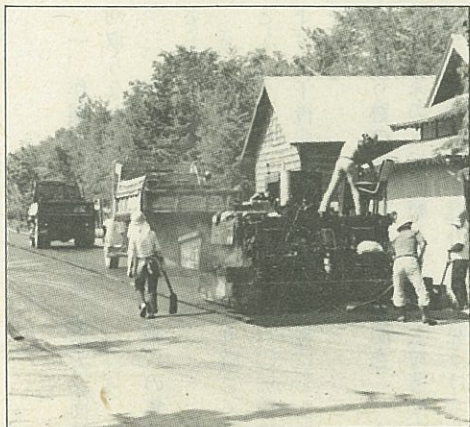
路など六千六百六十八メートルを、市街地では、あかしや東団地道路、西町団地道路、青葉団地道路など三千六百六十一メートルを整備します。また、交通量の多い幕別鉄道沿線道路には歩道を新設します。この整備により市街地の道路舗装率は五十三年度より五%のび五二・六%となります。

公園

歩いて自然に親しむことが出来る所として札内地区の皆さんから期待されている幕別温泉一帯が国民保養温泉地の指定を受け、整備を進めています。今年から幕別温泉前の広場を依田公園として整備を行ないます。

環境衛生

一般家庭から出される多量のゴミを町では約五千万円かけて処理していますが、事業所や各家庭から出される大型ゴミ、燃えないゴミは豊岡のゴミ捨て場に

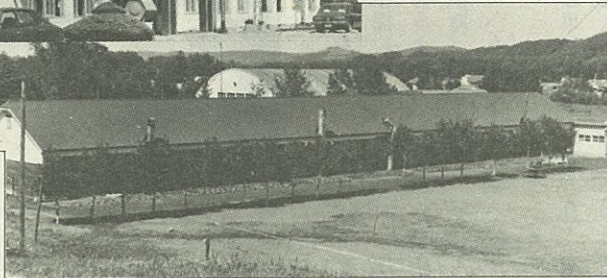


進む道路の舗装



▲増改築される糠内小学校

▼糠内中学校



学校教育

町では「恵まれた自然環境と施設の中での教育」を目指し教育施設の整備を進めてきました。幕別小学校・札内南小学校と毎年、校舎の改築、新築を行ってきましたが、ことは、大正十五年に建てられ町内でも最も老朽化している糠内小学校と昭和二十九年に建てられ傷み具合の激しい糠内中学校に三億円をかけ増改築いたします。また、へき地教員住宅も四戸建てられます。

社会教育

これまでも一億円をかけ

●あたたかい町づくり

150名定員の青葉保育所

札内地区に 保育所を新設

町では、幕別地区に二か所、札内地区に三か所の常設保育所を開設してきました。しかし、札内地区では、人口の増加とともに保育所に入所を希望する児童が増え、昨年は、三か所で全員を収容することができなく町費による無認可保育所を開設しました。このようなことから町では、百五十名定員の保育所を新設します。

また、町民の一人一人の幸せと健康を守る福祉施策や保健活動も意欲的にしています。

旧ボウリング場跡に整備を行ってきた「ふるさと館」。十月一日（開町記念日）オープンに向けて、ことしも四千万円をかけ、展示品収集や内装工事などを行います。

「ふるさと館」は、町の歴史を保存しておくところばかりではなく、町民の皆さんの交流の場であり幕別の未来をともに考える場に育てて行きたいと考えています。また、地域のコミュニティの場、近隣センターを豊岡地区と西和・依田地区の二か所に建設します。有効にご利用ください。

進む

教育施設の整備

糠内小・同中学校を増改築

●明日への町づくり

完成をまつ青葉保育所の子供たち



農業振興に 6億円

新農業構造改善事業
農村総合整備モデル事業
がスタート

●豊かな町づくり

町の基幹産業である農業。これまでも多額の費用をかけ土地基盤整備や農道の整備を行ってきました。

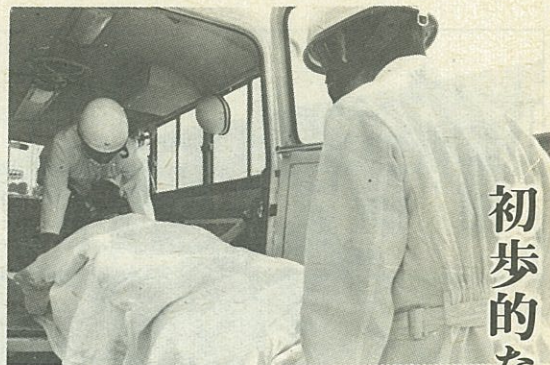
しかし、これらの事業のほとんどは、長期にわたり費用がたかさかかることから国、道営の事業に依存しなければなりません。

ことし行われる事業は、畑作総合改善対策事業、てん菜生産総合対策事業や酪農振興のため、酪農近代化団地育成事業、自給飼料生産向上対策事業、そして、土地基盤

整備事業の軍岡北明渠排水事業などで六億円をかけ整備いたします。

また、農業の近代化と農村の生活環境の整備を目的とした新農業構造改善事業や農村総合整備事業がスタートします。ことしは、計画の策定作業の段階ですが、農業の組織化・土地基盤や農業近代化施設など農業生産条件の整備や公園など集落の生活環境の整備を地域の実情に合せ総合的に行うもので大きな事業となります。

初歩的なミスが原因



一年間に発生した労働災害の内容は次の通りです。

● 一月十三日 製材作業中、機械操作ミスによって右手をはさんだ(男)

● 三月四日 塗装作業中、踏板をふみはずして転落した(女)

● 四月十一日 ベルトコンベアーを写真撮影中、上腕をはさんだ(男)

● 五月十五日 住宅解体作業中に踏板をふみはずして転落(男)

● 六月十七日 塗装作業中に踏板をふみはずして転落した(男)

● 六月二十三日 作業中 崩れてきた砂利の下敷となった(男)

● 六月二十六日 配合飼料を貯蔵するサイロの上で作業中に転落した(男)

● 七月五日 切断中のボーリングのピンが飛んで腹部にあたった(男)

社会事情の複雑化にもよって労働災害も増加の一途をたどっていますが、昨年一年間に町内で発生した事故の内容をみると、ほんのちよつとした油断、初歩的なミスが非惨な事故につながっています。

幕別消防署の救急車が昨年一年間に病院へ運んだ総人員は百八十六人(前年百五十人)、このうち労働災害が二十一件二十一人(前年十三件十五人)と、全体の一・三%を占め、前年より大幅に増加しています。このほか比較的程度のケガのため自分で病院へ行った方は、表面に現われた数の数倍に達するものとみられています。

労働災害の犠牲者は一家の大黒柱が特に多いのが特徴。馴れた仕事でも細心の注意をはらい、事故防止につとめたいものです。昨年

増急事故労災

● 八月十日 アスファルトプラントの部品を取り出す際、機械に足がはさまれた(男)

● 八月十日 建築作業中に滑って転倒し、突き出ていた鉄筋が右耳の下部に突きささった(男)

● 八月二十二日 構築中のブロック壁が倒れて下敷になった(男・死亡)

● 九月二十九日 新築工事中に転落した(男)

● 十月六日 ビートパイラーを移動中、腰部を機械にはさまれた(男・町外)

● 十月八日 コンクリートミキサー内で作業中に動き出して巻きこまれた(男・死亡)

● 十一月三日 作業中のベルトコンベアーで右手をはさまれた(男)

● 十一月六日 停止中の丸ノコの上に転んで右足下腿部分をケガした(男)

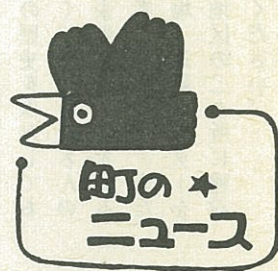
● 十一月七日 点検作業中、ベルトコンベアーに右上腕を巻きこまれた(男)

● 十一月八日 作業中に右手をベルトに巻きこまれた(男)

● 十一月十三日 作業中、踏板をかみはずして転落(男)

● 十二月三日 作業中、高温のコルタル原料が顔にかかった(男)

● 十二月十九日 トラックの荷台から空ドラムが落ち頭部に当たった(男)



宝町老人会で施設見学
宝町老人会(小室謙三郎会長)

では発展を続ける幕別を、この目で確かめようと、五月三十日に町内の施設見学会を実施しました。一行二十三人は、役場、十勝葉山電器、特別養護老人ホーム札内寮などを見学、幕別の今昔をしのびながら元氣に見学を終えました。

南町一公区婦人部で体力測定

南町一公区婦人部の皆さんは、

六月十七日に体力測定を幕高屋体で実施しました。若さを誇る皆さんも、腕立伏、立幅とび、時間往復走に汗びつしより。でも、さわやかな一刻でした。自分の体力を知りたい方は教育委員会の社会体育係にご相談ください。

緑町第二公区で鈴蘭祭り

緑町第二公区(山崎長一公区長)では、恒例の鈴蘭祭りを六月十七日の日曜日に約五十人が参加して開催しました。参加した皆さんは新和の新田牧場で可憐な鈴蘭と山菜の採取に興じ、お昼には待ちに持った弁当と、まるでバス遠足のような楽しい一日でした。



鈴蘭祭りを終えた皆さん



体力測定の婦人部の皆さん



役場塔屋で街並み見学

日曜当番スタンド

幕別地区 七月八日幕別農協 十五日常前工務店 二十二日幕別トラック 二十九日那須商店 八月五日笹井金物店
札内地区 七月八日坂本石油 十五日札内ツバメ 二十二日宗岡石油 二十九日杉本石油 八月五日山崎石油

開拓時代の獅子頭を発見

新しい郷土芸能誕生

振付け(獅子)、作曲(太鼓)も完成

昭和四十八年に幕別神社の倉庫を整理中に、今まで見たこともない獅子頭が発見されました。現在この獅子頭を中心にして幕別の郷土芸能に育てあげようと、有志の方々が練習にはげんでいます。

あるだけで、くわしいことはわかりません。

幕別には、糠内の獅子舞いのほかに、これという郷土芸能はないため、この獅子頭を使って幕別の新しい郷土芸能にしようと、有志の方々が幕別文化クラブを結成しました。

この獅子頭のゆわれは幕別神社の記録にも残されていません。ただ、咄別(今の相川)に入植した讃岐(さぬき・香川県)の人が、入植にあたって郷里から持参し、秋まつりにカネ、タイコ、笛にあわせて舞ったという古老の記憶が

獅子の舞いは本町の斉藤栄一さんが振り付けし、錦町の中村実さんが幕別の四季を表現した作曲をすでに終えたほか、大太鼓五個、揃いの半日も出来あがり、会員の皆さんは仕事のあい間をみて練習をおこなっています。

本格的に練習し、町民の皆さんに披露するにはまだまだ人数が足らず、太鼓の打ち手、笛を吹くのが好きな方の参加を呼

練習する文化クラブの皆さん



篤志寄付者

町社会福祉協議会へ：
▽匿名の方から今月も心ばかりですがと千円。

消防団第一分団へ：
▽三好勝さん(西猿別)

びかけています。参加したい方は次の役員に申し出てほしいと望んでいます。

▽会長―森野末吉(錦町) 副会長―斉藤栄一(本町) 理事―逢坂又市(錦町)

北原、山口さんに

紺綬褒章を伝達

昨年四月に開校した札内南小学校に、教材購入資金として百万円



伝達を受ける北原さん(上)、山口さん(下)

を寄付した山口富吉さん(依田)と明野近隣センターの駐車場用地にと六百六十一平方呎の土地を町に寄付した北原喜市郎さん(明野)に国から紺綬褒章が贈られ、去る六月九日に大石町長が、それぞれのお宅を訪れ、伝達しました。



から消防団第一分団へ二万円。

老人クラブへ：

▽可知キクノさん(宝町) が宝町老人会へ五千元

▽石井照一郎さん(駒島) から駒島老人クラブへ一万元

▽三好勝さん(西猿別) から西猿別老人クラブへ二万円、幕別老人クラブへ三万円

▽佐藤昌逸さん(古舞) から古舞老人クラブへ一万元

▽中村正太郎さん(宝町) から宝町老人会へ一万元

▽東原武夫さん(明野) から明野新川老人クラブへ五千元

▽若葉牧場さんから二万円、掛川牧場さんから一

万円それぞれ日新老人クラブへ

10

月オープンをみんなの力で

1 資料を集めています。

私たちの町は開拓以来八十三年にもなります。開拓当時から使われていた品々は年を追うごとに散逸、消滅してきています。

教育委員会では今、町の歴史を物語る開拓用品、生活用品、産業資料、文書関係など、歴史資料をみなさんをお願いして幅広く集めています。

寄付またはお貸ししていただく品物は、古道具屋さん並ぶよう

な珍しいものや骨董品として価値があるものばかりではありません

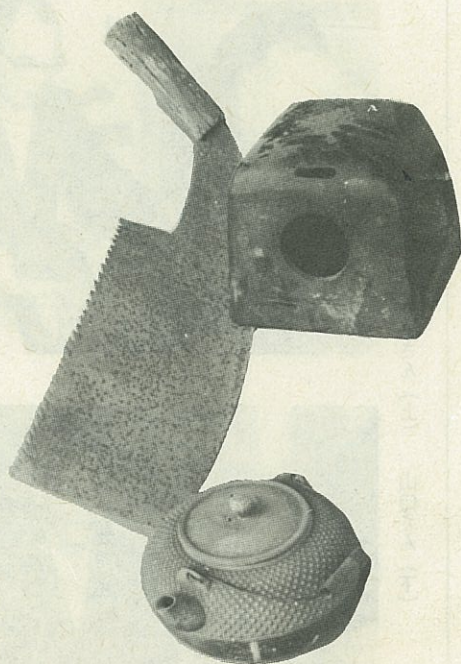
私たちの親、おじいちゃんやおばあちゃんの時代に使っていた品で生活の匂いがしみこんでいるものを集め、保存、展示していきたいと考えています。

こうした品々は、みなさんのお宅の物置や押入れにきつと眠っていることと思います。大掃除や引っ越しで整理したときに「こんな

ものが出て来たんだが」と連絡をいただければこちらから受け取りにお伺いします。

現在集めている資料のうち、特に商業関係と文書関係のものが少いためご協力をお願いします。具体的にあげてみると、次のような品々です。

- 商業関係、商店街の昔の写真、看板、暖簾、ちらし、物差、枰
- 文書関係、手紙、古地図、ビラポスター、雑誌など



2 スタッフ募集中

広報五月号、十勝毎日新聞（五月十五日付）でみなさんをお願い

したふるさと館運営のスタッフに数名の方のご応募がありました。

一人でも多くの力を合わせてふるさと館をつくらう——そうした町民参加の発想でスタッフの募集をしています。報酬はほとんどありませんが、あなたのアイデアと作品をふるさと館を訪れるみなさんに見てもらふチャンス、また、それらがふるさと館に永く残されるという満足感が得られます。フ

イルムなどの消耗品はすべてふるさと館で負担します。
募集中のスタッフは次のとおりです。

プランナー 館内の特別展示や講座の企画をしてみたい人

コピーライター 展示パネル、出版物に残したい人

VTRディレクター デオカメラを駆使して幕別の自然や人々の生活を撮

ってみたい人
幕別の今の姿を自分のカメラ・アイでとらえ、永く残したいと思う人

カメラマン
ふるさと館のスタッフは決してプロではありません。シロウト感覚でもいいのです。町の歴史、映像あるいは企画の面に興味のある人ならだれでも気軽に応募してください。締め切りは七月十日です。第一回目のスタッフ会議を七月中旬に行い、十月オープンへむけて具体的な作業に入ります。

★資料の提供をしていただける方、ふるさと館のスタッフに参加ご希望の方は下記へご連絡ください。

教育委員会・社会教育課 ☎ (01555) 4-2007 / ふるさと館 ☎ (015556) 3117